

6月13日(木)

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

9:55 - 10:00 開会挨拶		日本オゾン協会 会長 増子敦
10:00 - 11:00 I. 発生・発生装置 4編		座長：和田昇
1	誘電体バリア放電の放電様相とオゾン生成特性の関係－電圧波形の影響－	金沢工業大学工学部 メタウォーター(株)
2	紫外線による高濃度オゾンの生成と水処理時の特性	ウシオ電機(株)
3	電解オゾン生成用SnO ₂ 電極の開発	石福金属興業(株)
4	オゾンウルトラファインバブルの溶存濃度と寿命に関する研究	東京都立大学 株式会社塩/東京都立大学
11:00 ~ 11:10 休憩		
11:10 - 12:10 II. 反応器・計測技術 4編		座長：竹内希
5	高精度かつ共存物質の干渉を受けにくい新たな溶存オゾン濃度測定法：p-ビニル安息香酸法	京都大学大学院地球環境学堂 京都大学大学院工学研究科
6	オゾン注入－ケミカル複合排ガス処理によるNO _x ・SO _x 除去	大阪公立大学 日本山村硝子(株)
7	無声放電を用いた乾燥空気原料オゾナイザにおける反応生成物の解析	横浜国立大学大学院環境情報学府 横浜国立大学大学院環境情報研究院 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
8	電解オゾン水中の消毒副生成物に関する基礎的検討	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
12:10 ~ 13:10 昼休み		
13:10 - 14:10 特別講演 1		司会：田村哲也
Food and Water Shaping the KYOTO - 食・水が織りなす京都の文化		京都工芸繊維大学 名誉教授 小野芳朗
14:10 - 14:40 特別講演 2		司会：田村哲也
電解促進酸化処理の特徴と今後の展開		龍谷大学 先端理工学部 学部長 岸本直之
14:40 ~ 14:50 休憩		
14:50 - 16:05 III. 浄水処理 5編		座長：加藤康弘
9	オゾン処理後のナノバブルフラッシングによるセラミック膜のファウリング除去促進	龍谷大学先端理工学部環境生態工学課程 龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科 広島大学大学院先進理工系科学研究科 広島大学環境安全センター
10	水で水を浄化する技術における着色液の脱色	日本工業大学基幹工学部機械工学科
11	阪神水道企業団におけるハロアセトアミド類の存在実態と除去性に関する調査	阪神水道企業団
12	東京都水道局朝霞浄水場における冬期のかび臭原因物質対応	東京都水道局
13	三園浄水場運転管理におけるオゾン注入設備の安定運用について	東京水道(株)
16:05 ~ 16:15 休憩		
16:15 - 16:35 第31回表彰式(年次研究講演会と同会場)		
16:45 - 17:15 日本オゾン協会 第23回総会(協会正会員のみ 成就館3F J306号室)		
17:30 - 19:30 意見交換会(成就館1F「Café Ryukoku &」)		

6月14日(金)

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

10:00 - 10:45 IV. 促進酸化・汚泥処理 3編			座長：奥田哲士
14	オゾン促進酸化法を用いた実排水中の残留抗菌剤の除去性能の評価および予測手法の開発	静岡県立大学 ダッカ大学 愛媛大学 東京工業大学	○徳村雅弘、西村有里、Umma Salma、野呂和嗣、雨谷敬史、牧野正和 Anwar Hossain, Mohammad Raknuzzaman 渡辺幸三 ○竹内希、渡辺泰一
15	ダイヤフラム放電プラズマの過酸化水素生成特性と促進酸化処理への応用	京都大学大学院工学研究科	○方盛鈞、朴耿洙、林東範、西村文武
16	オゾン可溶化処理による余剰汚泥中の薬剤耐性菌及び薬剤耐性遺伝子の除去効果の評価		
10:45 - 11:00 V. ポスター発表 3編			座長：奥田哲士
P-1	促進酸化法による水中の有機リン系農薬の分解	龍谷大学先端理工学部	○浅野昌弘、川瀬雄介
P-2	オゾン-ファインバブルを用いた効率的オゾン水作製技術の検討	高知工業高等専門学校専攻科ソーシャルデザイン工学専攻 高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 OKエンジニアリング	○小松弘睦、森下海都 西内悠祐、秦隆志 松永大介、松永大
P-3	電解分解とオゾンを組み合わせた促進酸化法によるジクロフェナクの無機化	東邦大学大学院理学研究科 東邦大学理理学部	○寺井智紀 井関正博
11:00 ~ 11:10 休憩			
11:10 - 11:55 VI. 下水処理 3編			座長：西村文武
17	オゾン水と次亜塩素酸ナトリウム水のファウラント除去特性に関する比較評価	三菱電機㈱	○佐藤祐樹、今村英二
18	再生水中の異臭味物質：発生と高度処理による除去	テキサス州立大学 ウィチタフオールズ市 バージニア工科大学	○池端慶祐、Carlos A Espindola J. Hunter Adams, Sam Reeder Andrea M. Dietrich
19	Examination of ozone-based microalgae domination technology for the realization of a new wastewater treatment technology	Graduate School of Environmental and Life Science, Okayama University 岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域	○Huynh Tan Nhut 樋口亜由未、永禮英明
11:55 ~ 13:00 昼休み			
13:00 - 13:30 特別講演3			司会：田村哲也
	Sustainability will be impossible without change	Former IOA President (2020-2022) President, SJ Enviromental Consultants (Windsor) Inc.	Dr. Saad Y. Jasim
13:30 - 14:00 特別講演4			司会：田村哲也
	Side-stream injection trends	Next IOA-PAG President (2026-2027) Vice President of sales & marketing, Mazzei Injector Company	Mr. Jim Lauria
14:00 ~ 14:10 休憩			
14:10 - 15:10 VII. 消毒(1) 4編			座長：大瀧雅寛
20	オゾンおよび塩素による下水中大腸菌の不活化と微量化学物質の分解	摂南大学大学院理工学研究科 摂南大学理工学部 三菱電機㈱ ㈱島津テクノリサーチ	○大國慎弥 水野忠雄 中山恵裕 八十島誠、嶽盛公昭、中村明広
21	病院排水のオゾン処理による薬剤耐性菌およびその薬剤耐性遺伝子の除去	京都大学大学院工学研究科	○朴耿洙、陳婧怡、林東範、西村文武
22	SARS-CoV-2 (B. 1. 1. 529) スパイクタンパク質のオゾン水による不活化に対する標的部位におけるアミノ酸の寄与	摂南大学(名誉教授) 静岡県立農林環境専門職大学 デノラ・ベルメレック㈱	○中室克彦 内藤博敬 錦善則
23	溶存態DNAに対するオゾン消毒の影響	龍谷大学先端理工学部環境生態工学課程	○越川博元、稲垣明康、中井大貴
15:10 ~ 15:20 休憩			
15:20 - 16:20 VIII. 消毒(2)・実例など 4編			座長：水野忠雄
24	水処理における無水銀UVランプ式と放電式のオゾン発生方式の比較	㈱オーク製作所	○小林剛、北澤成、芹澤和泉
25	電解オゾン水を用いた温浴施設循環ろ過器の消毒試験	㈱ヤマト 国立感染症研究所 長崎県環境保健研究センター	○小森正人、金井博哉、斉藤利明 泉山信司 田栗利紹
26	めっき水洗工程へのオゾン適用(4)	多田電機㈱ オーエム産業㈱ オーエム産業㈱/関東学院大学 関東学院大学	○中峠美華、吉田圭吾 清水昭弘、西村宜幸 山内四郎 高井治
27	オゾンと紫外レーザー光を用いた高出力レーザー制御光学素子の開発	電気通信大学レーザー新世代研究センター	○道根百合奈、米田仁紀
16:20 - 16:25 閉会挨拶			日本オゾン協会 副会長・学術公益部会長 大瀧雅寛